阿蔵山産業用地活用に向けて

令和６年４月１日　浜松市産業部企業立地推進課

目次

阿蔵山地区開発の背景 1

事業計画概要 2

阿蔵山産業用地活用の視点 3

企業誘致のポイント 4

アクセス 5

ロケーション 6

阿蔵山地区開発の背景

①産業立地の現状と課題

■公共事業による主な産業用地

完了時期	名称	整備方針
平成５年度	都田テクノポリス	研究開発
平成23年度	第二都田地区工業用地	マザー工場
平成24年度	きらりタウン浜北	高度技術
令和３年度	第三都田地区工業用地	ＢＣＰ対策

■本市の産業課題

- 社会経済環境の変化や技術革新が急速に進む中で、そうした変化に対応する企業活動の受け皿の整備が必要である。
- 本市の強みであるものづくり産業の持続的な発展のため、研究開発による新たな付加価値の創造が求められている。

②関連動向

■産業立地の動向等（出典：経済産業省「産業立地政策について」）

- 新型コロナウイルスの感染拡大や地政学的リスクの顕在化を背景に、サプライチェーンを見直し、国内回帰・国内生産体制の強化を図る動きが見られる。
- 全国の分譲可能な産業用地面積の５年ごとの推移を見ると、新たに産業用地は造成されている一方で、ストックは減少しており、産業用地の造成が分譲スピードに追い付いていない。

③阿蔵山地区開発の経緯

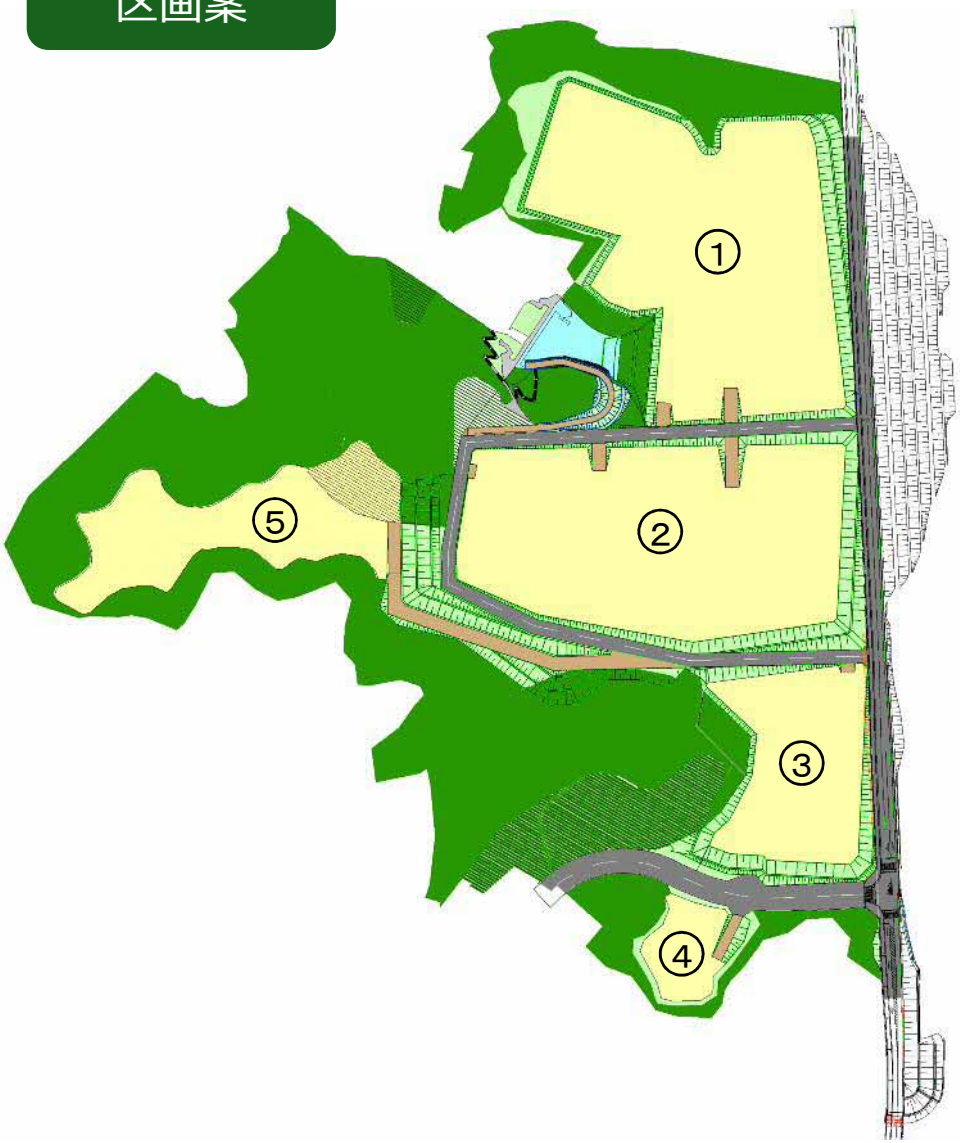
■阿蔵山地区開発経緯

時期	内容
平成元年度	阿蔵山住宅造成事業（旧天竜市）
平成17年度	12市町村合併
平成19年度	市街化区域編入
平成20年度	住宅造成事業の中止公表
平成25年度	防潮堤整備による土砂搬出事業（～令和２年）
令和４年度	産業用地としての活用方針公表
〃	開発区域・造成計画策定

- **阿蔵山産業用地活用の視点**
  - **・高付加価値**
  - **・イノベーション**
  - **・持続的発展**
- **企業誘致のポイント**
  - **・浜松の強みを生かす**
  - **・成長7分野**
  - **・アジャイル型**

事業計画概要

区画案



令和６年４月１日現在

■事業概要	
事業主体	浜松市
用途地域	工業系用途を予定
分譲時期	令和10年度分譲開始予定
分譲面積(予定)	区画①　約3.0ヘクタール
	区画②　約2.9ヘクタール
	区画③　約1.1ヘクタール
	区画④　約0.3ヘクタール
	区画⑤　約1.0ヘクタール
	合　計　約8.3ヘクタール

■スケジュール		
令和５年度	活用方針策定	
令和６年度	用途変更（住居系 ⇒ 工業系）	情報収集
〃	開発・上下水道詳細設計	
令和７年度	造成工事着手	誘致活動
令和年10年度	一部分譲開始	

阿蔵山産業用地活用の視点

1．VALUE －高付加価値－

新たな付加価値の創出や先端技術の活用による新事業展開など、
研究・開発機能をコアとした企業の誘致に取り組み、地域の競争力の強化を目指します。

2．INNOVATION －イノベーション－

第２期はままつ産業イノベーション構想のもと、成長７分野を中心とした
成長市場や新産業の創出など、新たなイノベーションの創出につながる産業用地を目指します。

3．SUSTAINABLE －持続的発展－

社会経済環境の変化やDX、GXに対応し、産業振興や雇用創出、デジタル・スマートシティの
推進など、地域全体の持続的な発展につながる産業用地を目指します。

企業誘致のポイント

01 浜松の強みを生かす

「ものづくりのまち」として発展してきた本市の強みを生かした企業誘致に取り組みます。

- 世界的企業の集積地
- サプライヤー企業による強力な連携
- 産学官金連携によるオール浜松での支援体制
- すぐれた交通アクセス
- 静岡県内最大の人口

02 成長７分野

第２期はままつイノベーション構想に定める成長７分野をメインとした企業誘致に取り組みます。

- 次世代輸送用機器
- 健康・医療
- 新農業
- 環境・エネルギー
- 光・電子
- デジタル
- ロボティクス

03 アジャイル型

関係機関等と連携し、時流の変化に的確に対応した企業誘致に取り組みます。

- 行政機関（国、静岡県）
- 産業支援機関（浜松地域イノベーション推進機構、浜松商工会議所 等）
- 大手ゼネコン、信託銀行
- 機を逸しない情報発信、情報収集

アクセス

新東名高速道路 浜松浜北ICから車で約５分の好アクセス

東京・大阪の中間に位置し、東名・新東名高速道路からアクセスの良いロケーションです。
また、浜松市は輸送用機器をはじめ製造業が盛んで、ものづくりのまちとして発展しています。

アクセス

■高速道路

- 新東名高速道路　浜松浜北ICまで３km（車で約５分）
- 東名高速道路　浜松ICまで13km（車で約30分）

■鉄道

- 天竜浜名湖鉄道　天竜二俣駅まで0.5km（徒歩で約5分）
- 遠州鉄道　西鹿島駅まで3km（車で約5分）
- 東海道新幹線　JR浜松駅まで20km（車で約50分）

ロケーション

豊かな自然環境 中山間地域の玄関口 イノベーションの拠点

中山間地域の玄関口として天竜川や天竜美林といった豊かな自然環境に囲まれ、天竜川水系は、国のデジタルライフライン全国総合整備計画においてドローン航路の先行地域に指定されるとともに、周辺の天竜区二俣地区では、首都圏等大都市との地域連携を通じた、スタートアップ・イノベーション拠点の形成に向けた取り組みが進められています。